



© Hiroshi Yamauchi

山内浩 写真展

PAN HORAMA / パノラマ

会期：2015年5月1日(金) - 10日(日) 休廊：5月7日(木)

会場：ANEWAL Gallery(京都市上京区実相院町156) 時間：11:00 - 19:00

人は目の前のある情景に駆られシャッターを切る。情景に対して抱くその衝動は「PANORAMA」という言葉がギリシア語で「すべて(Pan)の眺め(Horama)」という意味を持つことから古くからある根源的な欲求であることを思わせる。

山内浩は時間という視点から情景を眺望する。それは目に見えるものを越えた先への眼差し。その眼差しには伸びやかな広がりを感じさせると同時に、圧倒的な力と絶望的な隔たりを前に抱く畏れにも似た美しさが秘められている。

本展は、会場となる京町家の特性である間仕切りなどを通した重層的な空間の連なりを舞台に、中庭から受けるような外界からの様々な影響も時間の揺らぎとして展示構成に取り込む。そして、彼の持つ時間への眼差しと融合を図ることで、どこまでも拡張する時空の狭間を往来する。

■ オープニングレセプション & アーティストトーク：5月2日(土)14時～

■ クロージングイベント

5月9日(土) スタート /14:00 トークセッション & インタビュー /14:30～16:00

展示作家の山内浩氏に加え、同じく KG+15 に出展中の写真作家 レオ・ペレガッタとアーティスト サミュエル・アンドレをゲストに招きトークセッション & インタビューを行います。

「日本・京都で作家活動を行う魅力」というテーマについて、海外からの視点も交え語り合います。

インタビュアー：リサンネ・クラインヤン(オランダ ライデン大学・同志社大学留学生)

※聴講無料・途中入退出 OK・インタビューは基本的に日本語で行います

山内浩 (Hiroshi Yamauchi) <http://www.wow-photo.jp>

米国州立オハイオ大学ビジュアルコミュニケーション学部フォトジャーナリズム学科卒業後、米国内の地方新聞数社でインターン。2000年に帰国後、通信社契約を経て2006年よりフリーランス。ナショナル・ジオグラフィック誌(米)、ドキュメンタリーチャンネル ARTE(仏)など海外メディアの日本取材時に通訳、コーディネーターも務める。